



たからばこ

3年生学年だより
2022年12月号

11月の生活目標は、「ばかばか言葉をつかおう」です。自分自身と友だちとの関係を見つめ直す機会とするために、北小全体で人権学習に取り組みました。3年生は、「あの子」の教材に取り組みました。この教材では、「あの子」に対しての不確かな情報や噂に惑わされ、「あの子と一緒におらんほうがええで。」という言葉だけ広がっていきます。授業では、日々の生活の中で自分が気付いていないうちに「あの子」のような存在を作り出していないか考えることを通して、自分と友だちの関係を振り返りました。以下は授業後の子どもたちの感想です。

- ・悪口や噂を言っている人はもちろん良くないけれど、「そんなこと言ったらあかんで！」と注意をしたり、本当のことを確かめたりせずに信じている人も良くないなと思いました。
- ・ひとりぼっちは悲しいと思った。意地悪をされている人は一番悲しいけれど、意地悪している人も、それを見ている人も悲しい気持ちになってしまう。
- ・自分と違うところがあるからといって、「あの子と一緒におらんほうがええで。」って言ったり思ったりするのは間違っていると思いました。
- ・もしかしたら、嫌なことを言われた人も間違ったことをしてしまったかもしれないけれど、だからって意地悪をしたり、仲間はずしにしたりするのは間違っている。嫌なことがあったら、ちゃんと相手に伝える。
- ・かげぐちを言っている人に「自分がそんなこと言われたらどうするの？そんなことをして楽しいの？そんなことをするのはよくないよ。」と注意すればいいなと思いました。私は自分が嫌だと思うことは人にしないと決めました。
- ・自分が見たわけでもないのに、「周りが言っているから」とか「やっているから」という理由で噂を広めたり嫌なことをしたりするのは間違っている。
- ・相手を傷つける言葉を言ったり、みんなで仲間はずしにしたりする人は心が弱くなっていると思う。そんな心になりたくない。
- ・もしかしたら今までに私も悲しませることをしたことがあるかもしれないなと思いました。だからこれからは、友だちを悲しませないためにも、自分の言う言葉に気をつけたいです。
- ・自分が仲間はずしをされたり、嫌なことを言われたりしたら、とても傷つくし、「なんで？」と思う。友だちをそんな気持ちにさせないようにしたい。

今回、1・2年生は、「さきちゃんとぼく」3・4年生は、「あの子」5・6年生は、「はせがわくんきらいや」の教材に取り組みました。他学年の感想は、学校ホームページのそれぞれの学年ページに掲載していますのでぜひご覧ください。これからも子どもたちと一緒に大切にしていきたいことをじっくりと確かめ合い、お家の方々と共有していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。